

美浦村 教育大綱

生きる力を育み、一人ひとりの個性を生かし、可能性を切り拓く、
明日の美浦を創る人づくり

～人と地域のウェルビーイングの実現に向けて～

[対象期間]令和6年度から令和10年度まで

令和6年3月

ごあいさつ

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、村と村教育委員会との連携強化を図り、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとなっております。

近年においては、少子高齢化、技術革新、グローバル化の進展など、社会を取り巻く環境は変化を続け、さらに、新型コロナウイルス感染症が世界規模で大流行したことにより、教育環境や教育・学習のあり方、文化についても大きな変革の時期を迎えました。

この度、美浦村教育大綱の策定にあたりましては、美浦村総合教育会議において、教育委員の皆さまとの協議を重ね、教育行政全般はもとより、令和2年度から10年間の計画である第7次美浦村総合計画に関しましても、ご理解をいただきながら、教育、学術及び文化の振興に関する方向性を共有してまいりました。

第7次美浦村総合計画においては、将来都市像を「人と自然が輝くまち 美浦 ～知りたい・訪れたい・住んでみたい～」と定め、その実現に向け、SDGsの基本理念などを踏まえながら、各種施策に取り組んでいくこととしております。村では、この将来都市像の実現に向け、教育大綱においても、総合計画との整合を図り、将来像として「生きる力を育み、一人ひとりの個性を生かし、可能性を切り拓く、明日の美浦を創る人づくり～人と地域のウェルビーイングの実現に向けて～」といたしました。

今後につきましても、引き続き、教育委員会と綿密に連携を図りながら、将来像の実現に向け努めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



令和6年3月 美浦村長 中島 栄

基本理念

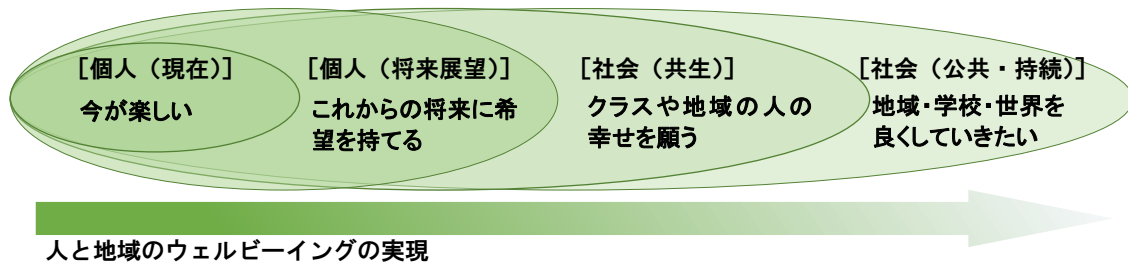
予測困難で変化の激しい時代の中で、自分の未来を切り拓く力を育成するために、時代や社会変化に適応できる教育を行います。また、学校・家庭・地域が協力し、社会全体で、子どもたちの生きる力を高めていきます。

さらに、美浦村の自然と歴史・文化に育まれた子どもの個性と能力を、社会で生きる力に育てます。そして、美浦村への愛着と誇りを深め、児童生徒が今を楽しく過ごし、将来に希望を持ち、学校や地域、世界を良くしていこうとする教育を目指します。これらの考え方を美浦村の教育の基本理念とし、将来像を次のように掲げます。

《将来像》

**生きる力を育み、一人ひとりの個性を生かし、可能性を切り拓く、
明日の美浦を創る人づくり
～人と地域のウェルビーイング※の実現に向けて～**

※「ウェルビーイング」とは、経済だけではなく「こころ」の充足、生活への評価・感情・価値、健康まで含めてとらえており、包括的で、個人のみならず個人をとりまく「場」が持続的によい状態であること。



基本目標

目標1 変化する社会に適応できる確かな学力の醸成

目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

目標3 協働してつくる持続可能な学びの推進

目標4 教育効果を高める学校づくりの推進

目標5 生涯学習社会の構築に向けた取組の推進

目標1 変化する社会に適応できる確かな学力の醸成



- 美浦村の就学前児童が健やかに育つよう、生涯にわたる人間形成の基礎となる幼児教育の質の向上を図るとともに、幼保小中の連携による幼児教育と学校教育の接続を強化します。
- 探究的な学びの推進や主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、児童生徒の「確かな学力」の育成を図ります。
- 急速に進展するグローバル社会に対応し、児童生徒が創造的な未来を切り拓いていくため、外国語教育の充実・強化など、児童生徒一人ひとりの資質能力の育成を目指します。
- 児童生徒が学校や家庭において効果的に学習できるシステムMEXCBT（メクビット）を積極的に活用するとともに教育DXを推進します。
- 地域をより良くするための意識醸成、ジェンダー平等、環境や災害への意識醸成など、児童生徒が主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成を図ります。
- 全ての児童生徒が安心して学ぶことができるよう、教育費の負担軽減や通学距離に対応した支援など、経済的状況等によらない質の高い学びの確保に努めます。

目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進



- 一人ひとりの児童生徒が自己肯定感を持って充実した日々を送りながら学習できるよう、誰一人取り残さない教育を推進します。そのため、多様性を認め受容する精神を培うとともに、社会規範としての道徳教育や人権教育を推進します。また、心の豊かさをつくる糧ともなる子どもの読書活動を積極的に支援するなど、豊かな心の育成を図ります。
- 一人ひとりの児童生徒の将来を実りあるものとするため、生徒支援・教育相談体制の充実、学年・学級経営の充実に努めるとともに、コミュニケーション力を育成するなど、孤をつくらぬ教育、居場所づくり、絆づくりへの支援を図ります。
- 引きこもりや不登校、障がいのある子ども、非行、貧困、ヤングケアラー、自殺など、様々な要因で困難を抱える子どもに対し、総合的な支援体制の充実を図ります。
- 児童生徒の人格形成や社会力の醸成を図るとともに、社会活動の様々な知見に触れる機会をつくるため、体験活動・ボランティア活動を推進します。
- インクルーシブ教育の実践を通して、切れ目ない支援体制の充実や一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援など、特別支援教育の充実を図ります。
- 児童生徒の健康・体力の向上を目指し、学校保健や給食・食育、学校体育の充実を図るなど、健やかな体の育成を進めます。また、部活動の地域移行などについては、地域と連携を図り進めていきます。

目標3 協働してつくる持続可能な学びの推進



- コミュニティ・スクールの推進や家庭教育支援の充実、青少年の健全育成、部活動の地域連携検討など、学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上を図ります。
- 教員が子どもと向き合い寄り添って教育に取り組めるよう、指導體制の整備や働き方改革、指導力向上のための支援に努めるなど、児童生徒と教員双方にとって魅力ある職場づくりを目指します。
- 事務の効率化や教育データの標準化などのデジタル化の推進により、時代に対応した学校づくりを進めます。

目標4 教育効果を高める学校づくりの推進



- 教育DXの基盤となる通信ネットワークや端末の更新など、適切なICT環境の整備により、質の高い教育環境の整備を進めます。
- 村立小学校の統合新設を契機とし、美浦村の教育の拠点としてはもとより、地域拠点としての役割も担う小・中学校の施設・設備の充実を図り、より安心・安全で質の高い教育環境の充実を目指します。
- 児童生徒の通学時の安全確保、在校時の安全確保を図るため、交通安全、防災、防犯意識の高揚を図るとともに、地域全体で児童生徒の安全を守る体制の整備・充実を推進します。また、感染症対策など防疫体制の充実を図ります。

目標5 生涯学習社会の構築に向けた取組の推進



- 誰もがいつでも気軽に学び、学んだ知識や技術を活用して地域に還元するなど、つながり合う地域づくり・連携・協働のまちづくりを目指します。
- 村民のスポーツへの関心を高め、スポーツを通じた地域間の交流や活性化に努めるなどスポーツ・レクリエーション機会の充実を努めます。また、指導者の育成・支援や、新たな団体の育成・支援を図ります。
- 村内には国指定史跡である縄文遺跡・陸平貝塚などの多くの文化財が残されています。これらの村の財産を保全・活用し後世に継承します。また、子どもの頃から質の高い芸術に触れる機会をつくり文化芸術活動を推進します。



SDGs（持続可能な開発目標）は、令和12年(2030年)までに持続可能な世界を実現するための世界共通の17の目標のことで、本計画においても、将来にわたって子どもたちが夢や希望を持って生きていくことができる持続可能な社会の実現を目指し、誰一人取り残すことのない教育の構築を推進します。